# 高圧ガス製造施設等変更明細書 (可燃性ガス冷媒又は毒性ガス冷媒以外)

### 1. 変更の理由及び内容

Ω	製造の	$\Box$	4
2.	袋垣の	Н	H)

種類	製氷	冷蔵	冷凍	冷(暖)房	化学用	試験•研究	その他	( )
用途								

### 3. 製造設備の種類

定置式		段圧縮式	往復動式		
	直接膨張式			水冷式	ユニット型
移動式		元冷凍式	回転式		
車両登録番号				空冷式	
( )	間接膨張式	ピートポンプ式	スクリュー式		
車種	ブライン			蒸発式	非ユニット型
( )	( )	非ピートポンプ式	遠心式		

4. 1日の冷凍能力	内訳明細	既設	トン
►		撤去	トン
注:計算書は別紙		新設	トン

## 5. 製造設備の明細

(1) 要 目

番	号			
型	式			
冷媒ガスの	の種類			
基準凝縮	温 度(℃)			
許容圧力	高圧部			
(Mpa)	(Mpa) 低圧部			
備	考			

# (2) 圧縮機の性能

番	号		
型	式		
圧縮機の種	類		
気 筒 内 径(エ	mm)		
行 程(1	mm)		
気 筒 数(1	nm)		

<b>※</b> 1	口	転	数	(rpm)				
<b>※</b> 1	ピス	トン押しの	け量(	m³/h)				
	原!	動機定格	3 出力	( kw )				
	製	造	所	名				
	製	造	年	月				
	台			数				
安全	安	:全 弁	口 吹始め	径(mm) )压力(MPa)	計算書は別紙	計算書は別紙	計算書は別紙	計算書は別紙
装			吹出し	圧力(MPa)				
置			材	料				
	高月	Eしゃ断装置	作動戶	E力(MPa)				
	冷	凍	能	力				
	備			考				
(3)	高月	王部容器						
	=	番		号				
	-	型		式				
	Ī	設計 圧	力 (N	/IPa)				
	設 計 温 度 (℃)							
凝	シェ	外形×長さ× 内 名		競板厚 (mm) 章板厚 (l )				
	ル 型	鏡 板・	管板の	)形状				
		材料(胴材	坂•鏡板•管板)					
	コイ	管の外形(mm の長さ						
	ル 型	管の	——材	* 料				
縮	1	 製 造	 所	名				
	1	 製 造	年	月				
	١.	 台		数				
		種		類				
	安							
器	全	口	径	( mm )	計算書は別紙	計算書は別紙	計算書は別紙	計算書は別紙
	装置	吹始め圧) (MPa) 又l						
		材		料				
	1	備		考				

г

	番	ž.	号				
	西	Ī	式				
	彭	计 圧	カ (MPa)				
H	訍	計 温	度 (℃)				
受	外	形×長さ×肌	同板厚×鏡板厚(mm)				
	Þ	容 容	積(丨)				
	鉧	6 板	の形状				
	杉	才 料 (肺	雨板•鏡板)				
	集	リ 造	所 名				
液	集	ų 造	年 月				
	台	j	数				
		種	類				
	安						
	全	口	径 (mm)	計算書は別紙	計算書は別紙	計算書は別紙	計算書は別紙
器				に示す。	に示す。	に示す。	[ に示す。
ΉΓ	装	吹始め圧	力及び吹出し圧力				
	置	(MPa) 又は溶解温度 (℃)					
		材	料				
	俳	Ħ	考				
	番	Ž	号				
油	西	ī.	式				
П	彭	計 圧	力 (MPa)				
	訍	計温	度 (℃)				
分	外	形×長さ×肌	同板厚×鏡板厚(mm)				
	Þ	容	積(丨)				
	鉧	も 板	の形状				
離	杉	† 料(肺	雨板•鏡板)				
	集		所 名				
器	集	造 造	年 月				
白白	É	ì	数				
	俳	前	考				

	į	番		号				
	į	型		式				
	i	設計圧	力 (M	ſPa)				
묘		設 計 温						
	5	外形×長さ×	胴板× <sup>鍰</sup>	競塚厚(mm)				
		内 容		(   )				
名	Ś	鏡板・管	板の刃	形状				
	7	材料(胴板	•鏡板•	管板)				
(	į	製造	所	名				
	1	製造	年	月				
	,	台		数				
		種		類				
	安							
	全	口	径	( mm )	計算書は別紙		計算書は別紙	計算書は別紙
					に示す。	に示す。	に示す。	に示す。
)	装	吹始め圧力 (MPa) 破						
	置	又は溶		度 (℃)				
		材		料				
		備		考				
		番		号				
		型		式				
		設計圧						
묘		設計 温						
	5	外形×長さ×	胴板×l <sup>鎖</sup>	就學(mm) 表板厚				
		内 容	積	(   )				
名	Ś	鏡板・管	板の刃	形状				
		材料(胴板	•鏡板•	管板)				
(		製造	所	名 				
		製造	年	月				
	,	台		数				
		種		類				
	安							
	全		径	(mm)	計算書は別紙	<del></del>	計算書は別紙	計算書は別紙
	装	吹始め圧力	<b>コ 75</b> ナドロチ	· 山 \	[ ] に示す。	に示す。	に示す。	に示す。
)		(MPa) 破	裂圧力	り (MPa)				
	置	又は溶	解 温					
		柑		料 ————————————————————————————————————				
	Ι ′	備		考		1	1	

# (4) 低圧部容器

	٤	番	号				
	-	型	式				
	i	設計圧	力 (MPa)				
묘			度 (℃)				
	5	外形×長さ×	胴板×鏡板厚(mm)				
		内 容	積(I)				
名	Ś	鏡板・管	板の形状				
	7	材料(胴板	•鏡板•管板)				
(	į	製 造	所 名				
	į	製 造	年 月				
	,	台	数				
		種	類				
	安						
	全	口	径 (mm)	計算書は別紙	計算書は別紙	計算書は別紙	計算書は別紙
	装			に示す。	に示す。	に示す。	に示す。
)			力及び吹出し圧力 E力又は作動圧力				
	置	(MPa)					
		材	料				
		備	考				
		番	号				
		型	式				
		設計 圧					
묘		設計温					
	5		胴板×鏡板厚(mm)				
		内 容	積(I)				
名			板の形状				
	_		•鏡板•管板)				
(		製造	所 名				
	_	製造	年 月				
	,	台 	数				
		種	類				
	安		<b>—</b> ( )				
	全		径 (mm)	計算書は別紙	計算書は別紙	計算書は別紙	計算書は別紙
	装	吹売み圧す	力及び吹出し圧力	[] に示す。	に示す。	に示す。	[] に示す。
)			T及び吸出し圧力 E力又は作動圧力				
	置	(MPa)	del				
		材	料				
		 備	考				

# (5) 配 管

区		分	設計圧力 (MPa)	設計温度(℃)	材	料
高	圧	部				
低	圧	部				

# (6) 止め弁及び自動制御弁

区分	止め弁、自動 制御弁の区分	型式	設計圧力 (MPa)	設計温度 (℃)	口径 (mm)	材料	個 数
高圧部							
低 圧 部							

# (7) 自動制御装置

種類	有 無	作 動 圧 力 (MPa)
低圧しゃ断装置		
油圧しゃ断装置		
過負荷保護装置		
凍 結 防 止 装 置		
冷却水断水保護装置		
送風機連動機能		
加熱防止装置		

6.	耐灶、	機密等の性能

(1)	機器試験合格証明書	別添	又は後日提出
(2)	冷凍用圧縮機等耐圧試験気密試験証明書	別添	又は後日提出
(3)	材料試験等耐圧試験及び気密試験証明書 (20t以上)	別添	又は後日提出
(4)	冷凍用圧縮容器耐圧試験気密試験証明書(20t未満)	別添	又は後日提出
(5)	安全弁作動試験合格証明書	別添	又は後日提出

8. 製造施設の構造及で	が製造設備の	の配置						
別図	に示す。							
特に図中に明示する	事項 図	中の番号等	特に図中	に明示	÷する‡	事項	図中の	番号等
引火性、発火性の物 たい積した場所	りを		保安上重えるバル		影響を	与		
火	気		安全	<u> </u>	去	置		
警戒	標		圧	力	;	計		
緊急時の措置標	識		受液器	景の 剤	夜 面	計		
出入	П		運車	<u> </u>	它 亡	間		
<ul><li>9. 製造施設の状態</li><li>(1) 火気等の状態</li></ul>		1						
引火性、発火性の物	無	種類						
をたい積した場所	・ 量 pらの距離(m)							
	無		- / - / - / - /					
		種	類	(ボイ	ラの場合	は伝熱配	面積(	) m²)
火 気	有	冷媒設備が	いらの距離(m)					
		防火壁又は	無		T			
		止措置の有	<b>戸無及び種類</b>	有	種類			
大型火気設備 (伝熱面	積14㎡を起	Bえる温水ボイ	ラ)					
① 耐火防熱壁を設け	てない場合	5m以上	<u>.</u>					
② 耐火防熱壁を設けてある場合 2m以上								
中型火気設備 (伝熱面	積8㎡を超	之、14㎡以下(	の温水ボイラ)					
① 耐火防熱壁を設けて	てない場合	2m以上	-					
② 耐火防熱壁を設け	てある場合	1m以上						
小型火気設備 (伝熱面積8㎡以下の温水ボイラ)								

7. 製造施設の位地及び付近の状況

に示す。

耐火防熱壁を設けてない場合 1m以上

別図

#### (2) 警戒標

項			
---	--	--	--

注:冷凍設備が危険な状態になったとき、取るべき措置を記載した標識を掲示する。

#### (3) 停滞しないような構造

区 分	開口部面積(m²)	換 気 能 力 (m³/min)
開口部のみの場合		
開口部の不足分を機械通風装置で補う場合		
機械通風装置のみの場合		

注:計算書は		に示す。
--------	--	------

# (4) 振動、衝撃、腐食により冷媒ガスが漏えいしない構造

防	振	措	置	振れ止め 可 撓 管 そ の 他 (	)
突出	部等の	) 防護	措 置	(	)
防	食	措	置	·	
123	~	<b>7</b> H	<u>د کنر</u>	その他(	)

## (5) 耐震設計

凝	縮	器	無	
〔縦 置 長 さ	円筒形でり さ 5 m 以	胴 部 ]	有	注:計算書は に示す。
受	液	器	無	
〔内容〕	積 5,0001	以上〕	有	注:計算書は に示す。
配 / 内容和	精 3m³以上又は	管上記 、	無	
の凝約接続で	債 3m³以上又は 縮器若しくは受液 されているもの	器に	有	注:計算書は に示す。

注:配管は、冷媒設備に係る配管で外径が45㎜以上のものに限る。

#### (6) 圧力計

区		分	取	付	筃	所	最高目盛(MPa)	個	数
高	圧	部							
[H]	/	Чघ							
低	圧	部							
此	/	Чघ							
圧縮	機潤	滑油							

#### (7) 受液器の液面計

液	面	計	Ø	種	類
ガラ	ラス管液	を面計(	の破損	防止	措置

## (8) バルブ等の誤操作防止措置

ア. バルブ等については、開閉方向の表示並びに配管内の流体の種類及び流れの方向を表示をする。

開閉方向を示すバルブ等の名称	流体の種類及び流れの方向を示す箇所

イ. 操作することにより製造設備に保安上重大な影響を与えるバルブ等のうち、通常 使用しないものには、施錠、封印等誤操作を防止するための措置を講ずる。

ウ. バルブ等を操作する場合は、運転管理に必要な空間及び照度を十分確保する。

10. 冷凍保安責任者及び同代理	者の選任予定者
(1) 冷凍保安責任者 氏名	
	第一種冷凍機械責任者免状交付
同代理者氏名	
	第一種冷凍機械責任者免状交付
(2) 冷凍保安規則第36条第2項第	弥号に該当する。
取 扱 責 任 者 氏名	
同代理者氏名	
11. 完成検査受験予定日及び予定	<b>E機関</b>
予 定 日 平成 15 年 12	月 30 日 予定機関
12. 工事施工業者	
名称	
所 在 地	
電話番号	冷凍空調工事施設工事 事業所認定番号
担 当 者	所属
13. 申請事務担当者	
名称	
所 在 地	
電話番号	
担 当 者	所属